

II 教育内容・方法・成果

1 開設授業科目における専兼比率

(2018年春 Semester)

(表 5)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
全学部	教養科目	専任担当科目数 (A)	121.0	131.8	252.8
		兼任担当科目数 (B)	80.5	48.0	128.5
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	60.0%	73.3%	66.3%
アジア太平洋学部	専門科目	専任担当科目数 (A)	3.0	129.7	132.7
		兼任担当科目数 (B)	0.0	25.6	25.6
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0.0%	83.5%	83.8%
国際経営学部	専門科目	専任担当科目数 (A)	26.0	97.8	123.8
		兼任担当科目数 (B)	6.0	7.9	13.9
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	81.3%	92.5%	89.9%

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
研究科共通科目	言語科目	専任担当科目数 (A)	0.0	2.0	2.0
		兼任担当科目数 (B)	0.0	2.0	2.0
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0.0%	50.0%	50.0%
アジア太平洋研究科	演習科目	専任担当科目数 (A)	33.0	0.0	33.0
		兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	0.0
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	100.0%
	専門科目	専任担当科目数 (A)	3.5	19.0	22.5
		兼任担当科目数 (B)	0.0	7.0	7.0
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0.0%	73.1%	76.3%
経営管理研究科	演習科目	専任担当科目数 (A)	16.0	0.0	16.0
		兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	0.0
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	100.0%
	専門科目	専任担当科目数 (A)	8.5	10.0	18.5
		兼任担当科目数 (B)	1.0	1.0	2.0
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	89.5%	90.9%	90.2%

- [注] 1 この表は、大学設置基準第10条にいう「教育上主要と認める授業科目」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 2 ここでいう「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼担科目も含めてください。
- 3 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付してください。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養教育的な教育に分けて記入してください。
- 4 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- 5 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りです。
- ①同一講師による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となります。
- ②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となります。
- 6 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載してください。
(例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となります)。

[大学注]

1 学部においては「その科目を修得しなければ卒業できないもの」および「卒業要件には含まれないが必ず履修しなければならない科目」の2種類を併せて「必修科目」と位置づけて本表に示している。

- ①日本語基準学生の英語科目（全学部共通教育科目の必修科目）
- ②英語基準学生の日本語科目（全学部共通教育科目の必修科目）
- ③「スタディスキル・アカデミックライティング」（全学部共通教育科目の登録必須科目）
- ④「多文化協働ワークショップ」（全学部共通教育科目の登録必須科目）
- ⑤「経済学入門」（全学部共通教育科目の必修科目）
- ⑥「統計学」（全学部共通教育科目の必修科目）
- ⑦「APS入門」（アジア太平洋学部専門科目の登録必須科目）
- ⑧「経営学入門」（国際経営学部専門科目の必修科目）
- ⑨「基礎数学」（国際経営学部専門科目の必修科目）
- ⑩「会計学Ⅰ」（国際経営学部専門科目の必修科目）
- ⑪「マーケティング入門」（国際経営学部専門科目の必修科目）
- ⑫「上級数学」（国際経営学部専門科目の必修科目）
- ⑬「金融論」（国際経営学部専門科目の必修科目）

- ⑭「人材と組織行動のマネジメント」（国際経営学部専門科目の必修科目）
- ⑮「生産管理論」（国際経営学部専門科目の必修科目）
- ⑯「ビジネス法務戦略」（国際経営学部専門科目の必修科目）
- ⑰「ビジネスエシックス」（国際経営学部専門科目の必修科目）
- ⑱「グローバルマネジメント（Capstone）」（国際経営学部専門科目の必修科目）

2 大学院においては次の科目を必修と位置づけて本表に示している。

- ①Research Methods and Academic Writing（アジア太平洋研究科の必修科目）
- ②Information Resources and Data Analysis（アジア太平洋研究科の必修科目）
- ③Politics and Economics in the Asia Pacific（アジア太平洋研究科の必修科目）
- ④Environment and Sustainable Development in the Asia Pacific（アジア太平洋研究科の必修科目）
- ⑤Social and Cultural Processes in the Asia Pacific（アジア太平洋研究科の必修科目）
- ⑥Tourism in the Asia Pacific（アジア太平洋研究科の必修科目）
- ⑦Public Health in the Asia Pacific（アジア太平洋研究科の必修科目）
- ⑧Quantitative Analysis and Statistics（経営管理研究科の必修科目）
- ⑨Managerial Economics（経営管理研究科の必修科目）
- ⑩Marketing（経営管理研究科の必修科目）
- ⑪Finance（経営管理研究科の必修科目）
- ⑫Leadership and Organization Behavior（経営管理研究科の必修科目）
- ⑬Technology Management（経営管理研究科の必修科目）
- ⑭Business Ethics（経営管理研究科の必修科目）
- ⑮International Management（経営管理研究科の必修科目）
- ⑯Accounting（経営管理研究科の必修科目）
- ⑰Theories of Institutions（経営管理研究科の必修科目）
- ⑱Strategic Management（経営管理研究科の必修科目）

3 大学院演習科目に関しては、両研究科とも必修としており、それぞれの教員ごとに演習科目として設置している。コマ数に数えない演習科目を専門科目として計上すると専門科目の配置及び専兼比率の正確な状況を表示できないため、演習科目と専門科目を別途明記することとする。

- 4 上記1、2、3以外の科目は選択必修科目と位置づけて本表に示している。
- 5 本学では、「選択科目」「自由科目」という区分は設定していない。
- 6 以上の理由により、「必修科目」と「選択必修科目」の合計が「全開設授業科目」となっている。

(2018年秋 Semester)

(表 5)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
全学部	教養科目	専任担当科目数 (A)	146.0	131.5	277.5
		兼任担当科目数 (B)	67.0	88.0	155.0
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	68.5%	59.9%	64.2%
アジア太平洋学部	専門科目	専任担当科目数 (A)	1.0	127.0	128.0
		兼任担当科目数 (B)	0.0	39.3	39.3
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	76.4%	76.5%
国際経営学部	専門科目	専任担当科目数 (A)	21.0	91.0	112.0
		兼任担当科目数 (B)	10.5	12.3	22.8
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	66.7%	88.1%	83.1%

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
研究科共通科目	言語科目	専任担当科目数 (A)	0.0	2.0	2.0
		兼任担当科目数 (B)	0.0	1.0	1.0
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0.0%	66.7%	66.7%
アジア太平洋研究科	演習科目	専任担当科目数 (A)	38.0	0.0	38.0
		兼任担当科目数 (B)	1.0	0.0	1.0
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	97.4%	0.0%	97.4%
	専門科目	専任担当科目数 (A)	3.5	20.0	23.5
		兼任担当科目数 (B)	0.0	4.5	4.5
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	81.6%	83.9%
経営管理研究科	演習科目	専任担当科目数 (A)	16.0	0.0	16.0
		兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	0.0
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	100.0%
	専門科目	専任担当科目数 (A)	5.5	8.0	13.5
		兼任担当科目数 (B)	0.0	3.5	3.5
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	69.6%	79.4%

- [注] 1 この表は、大学設置基準第10条にいう「教育上主要と認める授業科目」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 2 ここでいう「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼担科目も含めてください。
- 3 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付してください。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養教育的な教育に分けて記入してください。
- 4 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- 5 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りです。
- ①同一講師による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となります。
- ②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となります。
- 6 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載してください。
(例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となります)。

[大学注]

1 学部においては「その科目を修得しなければ卒業できないもの」および「卒業要件には含まれないが必ず履修しなければならない科目」の2種類を併せて「必修科目」と位置づけて本表に示している。

- ①日本語基準学生の英語科目（全学部共通教育科目の必修科目）
- ②英語基準学生の日本語科目（全学部共通教育科目の必修科目）
- ③「スタディスキル・アカデミックライティング」（全学部共通教育科目の登録必須科目）
- ④「多文化協働ワークショップ」（全学部共通教育科目の登録必須科目）
- ⑤「経済学入門」（全学部共通教育科目の必修科目）
- ⑥「統計学」（全学部共通教育科目の必修科目）
- ⑦「APS入門」（アジア太平洋学部専門科目の登録必須科目）
- ⑧「経営学入門」（国際経営学部専門科目の必修科目）
- ⑨「基礎数学」（国際経営学部専門科目の必修科目）
- ⑩「会計学Ⅰ」（国際経営学部専門科目の必修科目）
- ⑪「マーケティング入門」（国際経営学部専門科目の必修科目）
- ⑫「上級数学」（国際経営学部専門科目の必修科目）
- ⑬「金融論」（国際経営学部専門科目の必修科目）
- ⑭「人材と組織行動のマネジメント」（国際経営学部専門科目の必修科目）
- ⑮「生産管理論」（国際経営学部専門科目の必修科目）
- ⑯「ビジネス法務戦略」（国際経営学部専門科目の必修科目）
- ⑰「ビジネスエシックス」（国際経営学部専門科目の必修科目）
- ⑱「グローバルマネジメント（Capstone）」（国際経営学部専門科目の必修科目）

2 大学院においては次の科目を必修と位置づけて本表に示している。

- ①Research Methods and Academic Writing (アジア太平洋研究科の必修科目)
- ②Information Resources and Data Analysis (アジア太平洋研究科の必修科目)
- ③Politics and Economics in the Asia Pacific (アジア太平洋研究科の必修科目)
- ④Environment and Sustainable Development in the Asia Pacific (アジア太平洋研究科の必修科目)
- ⑤Social and Cultural Processes in the Asia Pacific (アジア太平洋研究科の必修科目)
- ⑥Tourism in the Asia Pacific (アジア太平洋研究科の必修科目)
- ⑦Public Health in the Asia Pacific (アジア太平洋研究科の必修科目)
- ⑧Quantitative Analysis and Statistics (経営管理研究科の必修科目)
- ⑨Managerial Economics (経営管理研究科の必修科目)
- ⑩Marketing (経営管理研究科の必修科目)
- ⑪Finance (経営管理研究科の必修科目)
- ⑫Leadership and Organization Behavior (経営管理研究科の必修科目)
- ⑬Technology Management (経営管理研究科の必修科目)
- ⑭Business Ethics (経営管理研究科の必修科目)
- ⑮International Management (経営管理研究科の必修科目)
- ⑯Accounting (経営管理研究科の必修科目)
- ⑰Theories of Institutions (経営管理研究科の必修科目)
- ⑱Strategic Management (経営管理研究科の必修科目)

3 大学院演習科目に関しては、両研究科とも必修としており、それぞれの教員ごとに演習科目として設置している。コマ数に数えない演習科目を専門科目として計上すると専門科目の配置及び専兼比率の正確な状況を表示できないため、演習科目と専門科目を別途明記することとする。

4 上記1、2、3以外の科目は選択必修科目と位置づけて本表に示している。

5 本学では、「選択科目」「自由科目」という区分は設定していない。

6 以上の理由により、「必修科目」と「選択必修科目」の合計が「全開設授業科目」となっている。